

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
908	41707000	レーザー供給装置用ホルダ	レーザー供給装置とともに用い、レーザー操作時にレーザー供給装置を支持する装置をいう。本品は、最終レーザービーム出力の位置決めを支援し、望ましくない偶発的な移動を防止し、安全性を向上させるものである。参照：レーザー供給装置、＜詳細付＞	Ⅲ	
909	新規歯 186	罹患象牙質除去機能付レーザー	炭酸ガスレーザーと歯面清掃器を1つにしたもので、罹患象牙質(C2のみ)を除去できる。	Ⅲ	○
910	11490000	汎用電気手術ユニット	高周波を用いて組織を切除したり、切開/創傷部を凝固させるためのユニット、その高周波は、アクティブとニュートラルな電極の間か、又はアクティブな電極の双方の間で患者の体に向けられる。組織の破壊に伴う電気手術の熱効果は、電気焼灼機器と同じように、熱よりも高周波又は高密度波に対する組織の抵抗によってもたらされる。通常、外科用透熱療法として知られている。	Ⅲ	
911	35632000	対極板断線アラーム付電気手術器	電気手術器と対極板(電流漏れの疑いがある電極)の間の対極板ケーブルの遮断の検出のため、電気手術器とともに用いる装置をいう。本品は、特殊な形式の患者回路安全性モニターとして機能し、設定した安全性の限度を超えた場合に警告を発する。最新の電気手術器にはこの機能が内蔵されているため、旧来の技術を反映していることがある。参照：アラーム、＜詳細付＞	Ⅲ	
912	36154000	アルゴンガス供給電気手術器	電気手術器(参照：アルゴン強化電気手術器)にアルゴンガスを供給するためのユニットをいう。アルゴンガスは、切断時の酸化を防止するため手術部周囲の保護層を形成するため、活性電極(ペン型)を経て供給される。これにより清浄な皮膚表面が得られる。本品は、運搬台車に組み込み、電気手術器に接続することによって、両システムのシングルコントロールでの作動が可能となる。	Ⅲ	
913	36155000	アルゴン強化電気手術器	アルゴンガス供給のため、あるシステム(通常、個別の運搬台車に収納されているか、もしくはESUジェネレータの筐体に内蔵されている)を備える単極(モノポーラ)の電気手術器(ESU)をいう。電気手術電流によって、組織の炭化を少なくし、大きな出血面(毛細血管床等)を速やかかつ均一に凝固させる、アルゴン供給用のイオン化チャンネル(アーク)が形成される。外科的ジヤテルミーともいう。	Ⅲ	
914	36273000	機械振動電気手術器	高周波電流を流すことによって手術時に身体の軟組織の切断及び凝固に用いる電気手術器をいう。高周波エネルギーは、切断器具の先端にたる2つの刃先の機械振動に変換される。この刃先は極めて高い周波数の機械運動で振動し、組織のコラーゲン分子を切断・崩壊させる。このためコラーゲンの振動及び変性が生じ、凝塊が生成する。この機械運動は超音波をエネルギー源として発生させることもできる。	Ⅲ	
915	35029000	電池電源式焼灼器	止血、表層皮膚病変の治療、小手術(いぼの除去等)に用いる電池電源式の装置をいう。電気を利用するが、患者に電流が流れるのではなく、切断器具の先端又はワイヤループが加熱される。先端の温度制御のため、サーモカプラが内蔵されているものもある。	Ⅲ	
916	35030000	ライン電源式焼灼器	電気で加熱されるプローブ又は刃を利用して、組織を切断又は凝固するために設計されたライン電源式装置をいう。患者に電流が流れるのではなく、切断器具の先端が加熱される。患者の体液喪失を防止し、手術野が観察しやすくなる。いぼ又は表層皮膚病変の除去等に用いる。適切な内視鏡を介した消化器ポリープの除去、避妊術時の卵管結紮等のため内視鏡治療装置とともに用いることもある。	Ⅲ	
917	17596000	水晶体乳化術白内障摘出ユニット	白内障手術において、超音波乳化吸引術により水晶体を除去するために、接続するプローブに超音波エネルギーを送達することを目的とした眼科用器具をいう。	Ⅲ	
918	新規X501	マイクロ波メス	マイクロ波により血液を加熱凝固させて止血する装置をいう。	Ⅲ	
919	36540000	超音波ナイフ	超音波エネルギーを利用して腫瘍などの軟部組織を切開する手術器具をいう。切開部に水洗及び吸引用の液体を供給することにより手術領域を清潔に保ち、破片を除去することができる。	Ⅲ	
920	37776000	超音波吸引器	機械的超音波振動を利用し、灌流と吸引を組み合わせることによって身体の様々な部分から含水率の高い軟組織及び腫瘍を粉碎・除去する装置をいう。神経手術、一般手術、婦人科及び整形外科処置の間に用いる。	Ⅲ	
921	11067000	汎用冷凍手術ユニット	凍結剤の直接供給もしくは凍結剤で冷却したプローブとの間接的な接触によって、標的組織の熱放散のため気体又は液体の冷媒を供給するユニットをいう。通常、一般的な外科処置(皮膚科、口腔手術、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、肛門科等)に用いる。	Ⅲ	
922	11068000	眼科用冷凍手術ユニット	凍結剤を直接適用するか極低温プローブと間接的に接触させることにより標的組織を冷却するために、ガス又は液体冷媒を適用し水晶体摘出などの眼科手術に用いる眼科機器をいう。	Ⅲ	

JMDN コード	新一般の名称	定義	クラス 分類	設置 該当	
923	36354000	手術用顕微鏡	治療、検査及び主として外科処置に用いる光学顕微鏡をいう。例示：天井又は移動式の専用フロアマウントに取り付けられている。参照：取り付け器具、〈詳細付〉。本品は、眼科手術、脳外科手術、一般手術等の様々な専門領域用のものがある。	I	
924	37294000	顕微鏡付属品	顕微鏡とともに使用し、顕微鏡の機能を追加することを目的とした機器をいう。顕微鏡の種類及び型式に関係なく、全ての付属品が本機器群に該当する。	I	
925	14386000	硝子体切除ユニット	硝子体を部分切除する眼科手術に用いる機器をいう。例示：不必要な物質を切除(少しづつ取り除く)し、きわめて繊細な吸引により破片を除去するために用いる切断用ハンドピース(通常、振動ナイフ)をコントロールする。	II	
926	34125000	硝子体切除ユニット カッタハンドピース	眼科手術時に眼から硝子体を切除するために親装置とともに用いる器具をいう。例示：本品は通常振動ナイフで、(ニブラーは)ケーブルによって親装置からコントロールする。親装置については硝子体切除ユニット参照。	II	
927	35156000	高周波病変ジェネ レータ	治療用病変を発生させることを目的として、制御された方法で、温度を上昇させるため体内の神経に高周波電流(無線周波数)を供給する装置をいう。本品に先端に電極及び温度感知素子を備えた専用のプローブを接続し、処置部にエネルギーを供給する。参照：高周波病変プローブ。脳等の敏感な部分に用いることもある。参照：電気手術器、〈詳細付〉	III	○
928	40783000	マイクロ波ハイパ サーミアシステム	悪性腫瘍、良性腫瘍、その他の疾患の治療のため、高温を発生させ、身体への供給を制御するために用いるシステムをいう。通常、コンピュータ制御されており、マイクロ波エネルギー源を利用して全身又は組織若しくは臓器内の局所の加熱を行う。患者に与えるエネルギーは、体外に取りつけられたコンポーネント又は単独で局所に、内視鏡を用いて、若しくは外科的な手法で挿入したカテーテル型・プローブ型のアプリケーションから供給する。	III	○
929	40782000	高周波式ハイパ サーミアシステム	悪性腫瘍、良性腫瘍、又は他の疾患の治療のため、高温を発生させ、身体への供給を制御するためのシステムをいう。通常、コンピュータにより制御されており、高周波(RF)エネルギー源を使用することにより全身又は組織若しくは臓器内の局所の加熱を行う。患者に与えるエネルギーは、体外に取りつけられたコンポーネント又は単独で局所に、内視鏡を用いて、若しくは外科的な手法で挿入したカテーテル型・プローブ型のアプリケーションから供給する。	III	○
930	40781000	超音波式ハイパ サーミアシステム	悪性腫瘍、良性腫瘍、又はその他の疾患の治療のため、高温(43℃を超える温度)を発生させ、身体への供給を制御するために用いるシステムをいう。通常、コンピュータ制御されており、超音波エネルギー源を使用して全身又は組織若しくは臓器内の局所の加熱を行う。患者に与えるエネルギーは、体外に取りつけられたコンポーネント又は内視鏡的を用いて若しくは外科的な手法で局所に挿入された変換器付きカテーテル又はプローブから供給する。USジヤテルミーシステムと異なり、超音波式ハイパーサーミアシステムは理学療法では使用されない。	III	○
931	40784000	液体加熱ハイパ サーミアシステム	悪性腫瘍、良性腫瘍、又は他の疾患の治療として、全身又は局所の加熱効果を得ることを目的として、高温の液体を発生させ、ベスト、マットレス、ジャケット、バンド、パッド、ボディラップ、カテーテル、プローブ、その他の装置内での循環を制御するシステムをいう。通常、コンピュータ制御されており、非標的組織に対する作用を制限しながら制御された方法で全身又は局所組織又若しくは臓器の温度を43℃以上に上昇させることによって根治療法あるいは緩和療法等を行うために用いる。	III	○
932	40785000	コンビネーション型 ハイパーサーミア システム	悪性腫瘍、良性腫瘍、又は他の疾患の治療のため、高温(43℃を超える温度)を発生させ、身体への供給を制御するためのシステムをいう。通常、コンピュータにより制御されており、超音波、高周波(RF)、マイクロ波、加熱された循環流体などの2つ以上のエネルギー源を、又は個別に使用することにより全身又は局所組織若しくは臓器内の局所の加熱を行う。患者に与えるエネルギーは、体外に取りつけられたコンポーネント又は内視鏡的、若しくは外科的な手法で局所に挿入したカテーテル型・プローブ型のアプリケーションから供給する。	III	○
933	36037000	体内式レーザー結石 破碎装置	特殊な尿管鏡、レーザー抵抗性カテーテル、専用レーザー(現在、色素媒体の緑色光)からなるシステムをいう。尿管結石の破碎に用いる。レーザーエネルギーが結石に照射され、結石が破碎される。破碎された結石は後に強制的に除去もしくは自然に排泄される。	III	○
934	35712000	体内式超音波結石 破碎装置	超音波結石破碎装置とは、オペレーティングシース、腎盂鏡又は尿管腎臓鏡、超音波結石破碎プローブからなる硬性の管状器具から構成されるシステムである。結石破碎プローブは、超音波トランスデューサと鋼製プローブからなる。超音波トランスデューサは、音波を水平及び垂直方向の振動に変換する。この振動は、結石に接触させた中空プローブに沿って伝播し、機械振動によって結石が破碎される。プローブは吸引ポンプに接続することができ、結石片はプローブの管腔を経て吸引される。	III	○

	JMDN コード	新一般の名称	定義	クラス 分類	設置 該当
935	35711000	体内式電気水圧 衝撃波結石破碎 装置	プラズマ誘導衝撃波を利用して腎臓、尿管、膀胱にみられる結石を粉碎する装置をいう。通常、プローブに生理食塩液を灌流しながら、エネルギーパルスで結石の中心部に発射する、ジェネレータ駆動プローブからなる。発生するプラズマバブルによって水圧衝撃(気泡が割れるときに生じる衝撃波)が生じ、結石がいくつかの破片に破碎される。この破片は、手術器具(把持器、ストーンバスケット等)を用いて除去することができる。	Ⅲ	○
936	新規a052	圧縮波結石破碎 装置	空気圧縮した先端部を連続的に稼働させることにより衝撃波を発生させ、対象の結石を破碎する装置。	Ⅲ	○
937	新規a013	微小火薬挿入式 結石破碎装置	微小火薬を結石部位に挿入し、破碎させる装置をいう。	Ⅲ	○
938	32070000	腎臓ウォーター ジェットカテーテル システム	カテーテルから加圧下で水を注入するによって腎盂の深部から結石を取り除くために用いるシステムをいう。腎結石の外科的除去に用いる。参照:洗浄ユニット、〈詳細付〉	Ⅲ	○
939	新規a047	体内式結石穿孔 破碎装置	装置先端部に結石穿孔用ドリルを装備し、このドリルで結石に孔をあけ結石を穿孔破碎する装置をいう。処置は通常、体内に挿入された内視鏡装置の支援下で行う。	Ⅲ	○
940	新規a048	X線透視型体内式 結石機械破碎装 置	装置先端部に結石破碎用ピンハンマを装備し、このピンハンマを結石に衝突させ結石を破碎する装置をいう。処置は通常、X線透視装置の支援下で行う。	Ⅲ	○
941	36032000	体外式結石破碎 装置	体内で形成された結石を断片化・粉碎するため、体外から非侵襲的衝撃波を送る装置をいう。この技術は体外衝撃波碎石術(ESWL)という。水中電極(焦点(結石部))に向けて衝撃波を発射する)や、加圧水入りシリンダ等と衝撃波ジェネレータ(結石を崩壊させるため集束する衝撃波を用いる)を用いる方法等の手法が用いられることもある。通常、シリンダが患者の皮膚に接触するクッション付きの処置台から突出するよう構成されている。生成する砂状の破片は、自然排泄時に体内から消失する。	Ⅲ	○
942	34862000	蒸気焼灼器	血管に過熱蒸気を直接供給することによって止血に用いる装置をいう。通常、非悪性の子宮病変に用いる。	Ⅲ	
943	38678000	手術用ロボット手 術ユニット	正確な骨及び軟組織のモデリング又は軟組織の除去(膝関節全置換術等)の補助具として、手術時に外科医を支援する装置をいう。本品によって、人工装具の正確性と再現性のために確実に骨を切断することができる。本品はコンピュータ技術に基づいており、通常、術者用コンソール及び器具操作用のアームから構成される。コンピュータへの入力には通常、以前のCT又はMRIスキャンが用いられる。外科医の訓練補助装置としても用いる。関連のある専門領域には、神経手術、脊椎手術、整形外科手術、前立腺手術等がある。	Ⅲ	
944	38723000	手術用ロボットナ ビゲーションユニ ット	ナビゲーション(脊椎手術における有茎ネジの配置等)の補助具として手術時に用いる装置をいう。本品はコンピュータ技術に基づいており、通常、術者用コンソールから構成される。また器具使用の追跡に用いるビデオカメラも接続されている。コンピュータへの入力には通常、以前のCT又はMRIスキャンが用いられる。次に、このスキャンをテンプレートとして用い、器具とその角度がわかる正確な三次元像を得るため、ロケーションポイントを読み取ることによって器具使用を追跡する。外科医の訓練補助装置としても用いる。	Ⅲ	
945	新規歯 223	歯科用空気回転 駆動装置	空気により歯、義歯、冠等の切削や研磨をする機器を駆動する装置をいう。	Ⅱ	
946	新規歯 222	歯科用電気回転 駆動装置	電気により歯、義歯、冠等の切削や研磨をする機器を駆動する装置をいう。	Ⅱ	
947	40958000	歯科用ガス圧式ハ ンドピース	歯科で用いる歯科用バー、リーマー等の回転装置を接続するためのチャックを備えた1つのハンドピースからなる歯科用器具をいう。通常圧縮空気により駆動する小型のタービン及び切断用コンポーネントを冷却する水噴射システムを内蔵している。	Ⅱ	
948	38347000	歯科用電動式ハ ンドピース	歯科で用いる歯科用バー、リーマー等の回転装置を接続するためのチャックを備えた1つのハンドピースからなる歯科用器具をいう。モーターを内蔵しているものもある。	Ⅱ	
949	新規歯 901	ストレート・ギア ードアングルハンド ピース	歯科で用いる歯科用バー、リーマー等の回転装置を接続するためのチャックを備えた1つのハンドピースからなる歯科用器具をいう。直線状のものとは一定の角度をもった形状のものがある。	Ⅱ	
950	新規歯 183	歯科多目的治療 用モータ	根管長測定機能とコードレスモータによる駆動装置をいう。	Ⅱ	
951	13187000	電氣的歯髓診断 器	電気式歯髓診断器で、電極から高周波電流を加えて歯髓の神経組織を刺激することによって、歯髓の活性度を評価するものをいう。	Ⅱ	
952	16355000	歯科用根管長測 定器	電気を利用した歯科用器具で、歯内治療において根管の上部(先端tip?)の位置を確認するために用いるものをいう。	Ⅱ	

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
953	新規歯 232	歯科用咬合音測定器	下顎運動下の咬合音(振動)を測定する機器をいう。	II	
954	新規歯 221	歯周ポケット測定器	歯周ポケットの深さを測定する機器をいう。	II	
955	新規歯 220	歯科用下顎運動測定器	主として下顎運動の測定に用いる機器をいう。	II	
956	新規歯 206	歯科用咬合力計	上下歯の咬合力(圧)を測定する機器をいう。	I	
957	新規歯 225	歯接触分析装置	歯接触の位置分布、時間的順位等を分析する装置をいう。	I	
958	新規歯 196	歯牙動揺測定器	槌打等により歯牙に振動を加え、その動揺の程度を測定する機器をいう。	II	
959	新規歯 203	歯科用顎関節音測定器	下顎運動下の顎関節音を測定する機器をいう。	I	
960	新規歯 219	歯科用イオン導入装置	フッ素イオン導入装置及び根管治療用イオン導入装置をいう。	II	
961	31885000	回転式歯周用スケーラ	歯科洗浄及び歯周治療時に歯の表面から歯石等の沈着物を除去するために用いる動力式の器具をいう。	II	
962	36047000	超音波歯周用スケーラ	歯科洗浄及び歯周治療時に歯の表面から歯石等の沈着物を除去するために用いる振動超音波チップを利用した動力式の器具をいう。	II	
963	新規歯 903	歯科用エアースケーラ	歯科洗浄及び歯周治療時に歯の表面から歯石等の沈着物を除去するために用いる機械的振動を利用したエア駆動式の器具をいう。	II	
964	35775000	歯科重合用光照射器	歯科用レジン材料の重合を行うことに使われる電力灯である。歯科技工室でのポリマーベース材料を重合することに使われるについては、歯科技工用重合装置を参照。	I	
965	40529000	電動式歯科根管拡大装置	作業部分に機械加工した鋭い突起をもつ器具で、研磨による根管の拡大を目的としたものをいう。超音波又は回転運動を与える歯科用ハンドピースを動力とする。	II	
966	新規歯 218	歯科用根管拡大装置	機械的な振動等により、主として根管を拡大する装置をいう。	II	
967	新規歯 217	歯科用両側性筋電気刺激装置	電気刺激により、主として頭けい(頸)部の疼痛症状を軽減及び筋肉部を弛緩させる装置をいう。	II	
968	新規歯 216	歯科用根管洗浄器	機械的な振動等により、主として根管内を洗浄する機器をいう。	II	
969	31806000	歯面漂白用加熱装置	歯牙に漂白剤を塗った後、熱を加えるための光や電動加熱器で構成される熱源である。	I	
970	新規歯 904	電熱式根管プラグ	円柱状又は先細の作業部分を持ち、その先端作業部分を発熱させその熱で充填材料を溶解し、充填する歯科用器具をいう。根管に充填物を主に軸方向に充填することを目的としている。	II	
971	38597000	チェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット	複合ソフトウェアを利用した装置で、診療所あるいは診療室内に設置して、歯科修復物のコンピュータ支援設計(CAD)及びコンピュータ支援製造(CAM)に用いるものをいう。	II	
972	新規歯 179	歯科用多目的超音波治療器	超音波を用いた歯石・歯垢除去器、根管拡大・洗浄・清掃、ガッタパーチャ充填器、根管長測定器等を一体化した機器をいう。	II	
973	34991000	歯科用ユニット	通常の歯科処置操作に必要な器具類、例えば圧縮空気、水、吸引、電気、テーブルトップ、ブラケットテーブル面、カスピドール(痰壺)、場合によっては手術用ライトを備えたユニット。たいていの場合、患者診察/処置用チェアが付帯している。歯科用診察/治療用チェアも参照のこと。	II	○
974	新規歯 215	歯科矯正用ユニット	矯正診療に用いるユニットをいう。	II	○
975	新規歯 214	歯科小児用ユニット	小児歯科診療に用いるユニットをいう。	II	○

	JMDN コード	新一般的名称	定義	クラス 分類	設置 該当
976	16692000	予防歯科用ユニット	予防処置のための機器を備えた歯科用ユニットをいう。	Ⅱ	○
977	34935000	歯科診査・治療用 チェア	特定の歯科治療や診査にとって理想的な位置に患者を配置するための椅子式の診療台をいう。このチェアは、歯科医師にとって最適となる口腔内へのアクセスと視野をもたらすために、高さや背もたれを倒す角度の調節ができたり、体軸回りに傾けられるものもある。このチェアは、複合型歯科診療台の一部である。数種類の歯科用装置の組み合わせである歯科用供給装置の項を参照。	Ⅰ	○
978	38611000	歯科技工用エンジン	歯科で用いる歯科用パー、リーマー等の回転装置を接続するためのチャックを備えた1つのハンドピースからなる歯科用器具をいう。本品は通常電源から離れており、フレキシブルドライブシステムを接続する。参照: 歯科用ドリルリモートドライブ。	Ⅰ	
979	38763000	歯科技工エンジン 用モータ	モーターを内蔵した歯科用器具で、歯科用ハンドピースに回転力を与えるフレキシブルドライブシステム(参照: 歯科用ドリルリモートドライブ)とともに用いるものをいう。	Ⅰ	
980	新規歯 143	歯科技工用金属 表面処理器	歯科用金属の表面を処理することにより、接着性の付与・強化等を目的とする技工用表面処理器をいう。	Ⅰ	
981	16330001	光学式角膜厚さ計	光学技術を用いて角膜の厚さを測定する機器をいう。	Ⅰ	
982	16330002	超音波式角膜厚さ 計	超音波を用いて角膜の厚さを測定する機器をいう。	Ⅱ	